ESPシリーズ

FIELD CMS のご紹介

担当が替わっても、
更新が続くホームページへ。



株式会社イー・サポート

2026年11月

本書の構成

目次

01 よくある困りごと P.3

02 FIELD CMS の「わかりやすさ」 P.4

03 編集の仕組み P.5

04 承認フロー P.6

05 役割と権限 P.8

06 公開の仕組みと他方式との比較 P.9

07 安全性 P.11

08 公開後の運用 P.12

09 複数サイト・特設ページ P.13

10 導入の流れ P.14

11 サーバーの条件と提供予定の機能 P.15

よくある困りごと

ホームページの更新が止まる理由は、だいたい決まっています

人

触れる人が限られている

HTMLが分かる担当者しか更新できず、異動や退職のたびに止まってしまう。

確

確認の手順がない

部署や拠点がそれぞれ更新すると、誤った内容がそのまま公開されてしまう。

古

古いページに気づけない

年に一度見直すべきページが、誰にも気づかれないまま残っている。

部

部品ごとの保守が追いつかない

プラグインの提供元がばらばらで、更新や不具合への対応が後回しになる。

FIELD CMS なら、仕組みで解決できます

FIELD CMS の「わかりやすさ」

覚えることが、少ない

少 機能が最小限

いつも使うボタンは限られています。日々の作業で使う機能は分かりやすい位置にまとめ、細かな設定は管理者側に分けています。

同 操作が共通している

「見出し」を追加できる人は、「画像」や「表」も同じ操作で追加できます。慣れるまでのハードルが低く、初めての方でもすぐに使えます。

担当者にとって分かりやすいから

→ 更新の頻度が上がる

管理者にとって分かりやすいから

→ サイトの見た目がそろう

編集の仕組み

部品を選んで、入力欄を埋めるだけ

見出し・本文・画像・表などの部品を上から順に積んでページを作ります。体裁は部品ごとに決まっているので、誰が作っても同じ見た目にそろいます。HTMLの知識は要りません。

見出し
大・中・小・最小の4段階

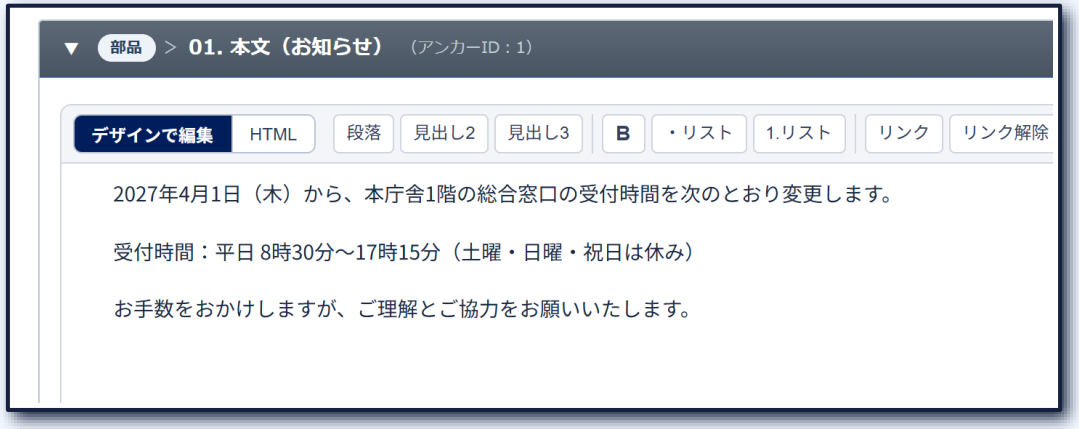
本文
文章、注意書き、キャッチコピー

画像・動画
1〜4列の画像、YouTube

表・ファイル
基本テーブル、PDF

ボタン・リンク
ほかのページへの案内

Q&A
よくある質問の形



実際の編集画面（本文の部品。見たままの形で編集できます）

1 **テンプレートを選ぶ**
お知らせ、固定ページなど、ページの型を選びます。

2 **部品を積んで入力する**
画像やPDFは、ドラッグ＆ドロップで載せられます。

3 **プレビューして申請する**
下書きのまま表示を確かめてから申請します。

承認フロー

作る人と、公開する人を分けられます

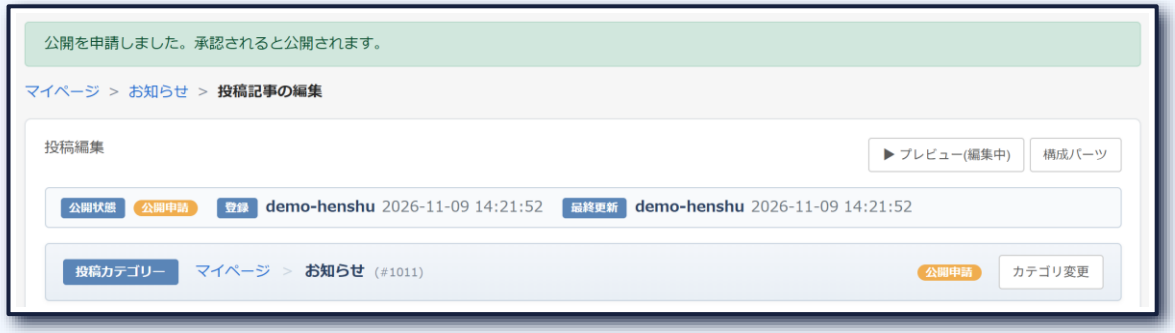
新しく公開する	下書き	→ 公開申請	→ 公開中
公開中の内容を直す	公開中＋下書き	→ 公開中＋公開申請	→ 更新版を公開
公開をやめる	公開停止の申請	→ 公開終了	

- 申請は、公開の役割を持つ人が確認して承認します。直してほしい点があれば、理由を添えて差し戻せます。
- 公開日時を決めて承認すれば、その時刻に自動で公開されます（予約公開）。公開中のページは、次の版を作っている間もそのまま表示されます。

承認フロー（実際の画面）

申請すると、承認する人の画面にすぐ並びます

1 作った人が「公開申請」を押す



2 承認する人のマイページに「承認待ち」が出る



3 内容を確かめて、承認または却下（差し戻し）



- 承認待ちは、申請の古い順に並びます。
- 差し戻されたページは、作った人のマイページに戻ってきます。
- 公開の予定と最近の操作も、ここで確認できます。

役割と権限

3つの役割で、できることを分けます

できること	編集	公開	管理
ページ・お知らせの作成、下書きの保存	○	○	○
公開・更新・公開停止の申請	○	○	○
申請の承認と差し戻し	—	○	○
申請を経ない公開と公開停止	—	○	○
利用者・カテゴリ・メニュー・バナーの管理	—	—	○
ほかの人が編集中のページの鍵を外す	—	—	○

上の役割は、下の役割でできることをすべて含みます。役割は利用者ごとに設定します。複数サイトの運用では、サイトごとに役割を分けられます。

利用者一覧（役割が一目で分かります）



鍵　同時編集を防ぐ

編集中のページには鍵がかかり、ほかの人は上書きできません。閉じたまま30分たつと外れます。

公開の仕組み

公開サイトには、書き出したHTMLだけを置きます

一般的な動的CMS（WordPress 等）

訪問者 → 公開サーバー（管理画面・DB）

訪問のたびに、データベースから素材を集めてページを組み立てます。公開サイトの裏で管理画面も動いています。

FIELD CMS（静的な書き出し）

管理用サーバー → 公開サーバー（HTMLのみ） → 訪問者

承認されたページだけをHTMLに書き出して置きます。公開サーバーには、データベースも管理画面もありません。

速 **表示が速い**
組み立て済みのページを返すだけ

守 **改ざんに強い**
公開側に攻撃の入口が少ない

混 **アクセス集中に強い**
繁忙期や災害時も遅れにくい

他の方式との比較

安定した情報発信を重視するサイトに向いています

観点	動的CMS（WordPress 等）	FIELD CMS
表示の速さ	○	◎
セキュリティ・改ざんへの強さ	△	◎
アクセス集中への強さ	△	◎
緊急時の即時反映	○	○
動的な機能（検索・フォーム）	◎	△※
拡張・プラグイン	◎	○
不具合・脆弱性の窓口	△	◎

◎ 方式として有利　○ 標準的に対応　△ 工夫が必要
※ サイト内検索・フォームは、構成に合わせてご提案します。

動的CMSが向くサイト

ECサイト、会員制サイト、ニュースサイトなど。訪問者ごとに内容を出し分けたり、頻繁に更新したりするサイト。

FIELD CMS が向くサイト

コーポレートサイト、公的機関・教育機関、ブランドサイトなど。正確な情報を安定して届けたいサイト。

安全性

ログインは、パスワードだけに頼りません

2

二要素認証

スマートフォンの認証アプリに表示される6桁のコードでログインします。紛失に備えた予備コードも発行します。

役

役割による権限

利用者ごとに「編集」「公開」「管理」でできる操作を分けます。

場

接続元の制限

管理画面に入れる場所を、事務所のネットワークなどに絞れます（サーバー側の設定）。

記

操作の記録

ログイン、保存、申請、承認などを記録します。パスワードや本文は記録しません。

サイトを作り直しても、古いリンクを切らさない

以前のURLへのアクセスを新しいページへ転送します（恒久301／一時302、フォルダ単位の指定も可）。

```
/news.php?id=12  →  /news/2025/winter-hours/
```

公開後の運用

公開してからの運用まで、仕組みで支えます

期

見直し時期の通知

ページごとに点検の周期を決めると、周期を過ぎたページを要点検の一覧に出します。決めていないページは1年で要点検になります。

予

公開の予約と自動取り下げ

公開日時を決めて承認すると、その時刻に公開されます。期間限定のお知らせは、終了日時に自動で取り下げます。

版

更新履歴

保存や公開のたびに版を残します（1ページ標準30版）。管理の役割を持つ人は、過去の版と今の内容を比べられます。

見

ダッシュボード

ログインすると、承認待ち・差し戻し・7日先までの公開予定が並びます。要点検の件数も表示します。

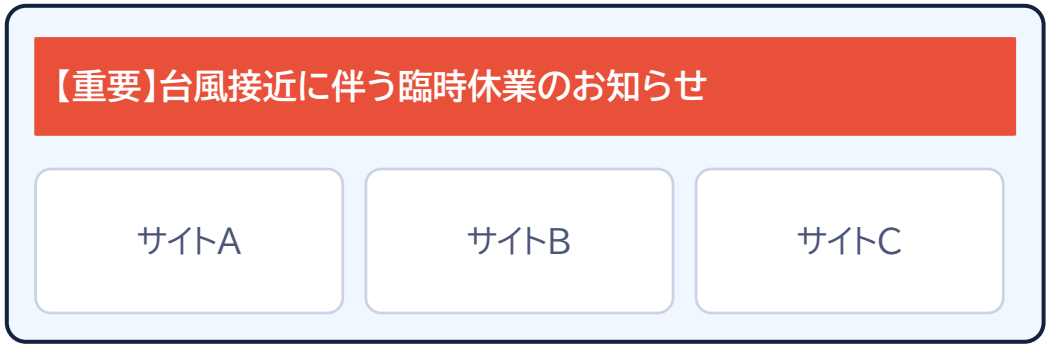
複数サイト・特設ページ

グループ全体の発信にも対応します

複数サイト向け

緊急のお知らせを一斉に掲示

地震や台風などのとき、本部の管理画面から配信先のサイトを選び、各サイトのトップに緊急のお知らせを表示します。サイトを一つずつ開いて更新する必要はありません。



LP・特設ページを追加する2つの方法

① サイトの中にHTMLを埋め込む

手軽に設置したいときの方法です。比較的安価に質の高いページを作れます。公開後に頻繁に更新しないLPに向いています。

② サブドメインで別サイトにする

特設サイト用にCMSを用意し、担当者がお手元で随時更新できます。本体サイトのドメインの評価を活かせます。

導入の流れ

操作を覚えてもらうより、使える状態にしてお渡しします

1

運用のヒアリング

更新する人、確認する人、今のお困りごとを伺い、役割と画面を組み立てます。

2

マニュアルの組み込み

担当業務ごとの手順を、管理画面の中に入れます。困ったときにその場で確認できます。

3

操作研修

公開を承認する方と、ページを作る方に分けて行います。

4

公開後の相談窓口

使い始めてからのご質問には、担当者が直接お答えします。

既存サイトからの移行は、ページ数や構成を伺ったうえで個別にお見積もりします。

サーバーの条件

管理用サーバーに必要な条件

PHP	8.4 以上
データベース	MySQL 8.4 LTS 以上、または MariaDB 11.4 LTS 以上
Webサーバー	Apache 2.4 以上 / nginx 1.24 以上（URL書き換えに対応）
SSH・Composer	サーバー上で使えること（脆弱性への更新をすぐ当てるため）
定期実行	cron で PHP のコマンドを動かせること（予約公開・公開終了に使用）
SSL/TLS	独自ドメインでサーバー証明書を設定できること

公開サーバーにはHTMLを置くだけなので、特別な条件はありません。クラウド（AWS など）での構築もご相談ください。

提供予定

過去の版に戻す

比べた版をそのまま下書きに戻し、承認を経て公開し直せるようにします。

リンク切れの自動検知

全ページのリンクを定期的に確かめ、切れているものを担当者に知らせます。

提供の時期は決まり次第お知らせします。

まずは、実際の操作画面をご覧ください

ページを作り、申請し、承認して公開するまでを、オンラインでご案内します。

操作画面を見る

オンラインでデモをご案内します

相談する

運用の決め方、移行、費用などのご質問

サーバーを確認する

今のサーバーで使えるかお調べします

株式会社イー・サポート

ESPシリーズ FIELD CMS